

令和8年度 上原中学校学校経営方針

校長 加納 一好

<教育目標>

一人一人の個性や能力を生かす生徒主体の教育を推進し、凛として気品のある、他とともにより良く生きる、自ら学び、未来を創造する生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

- 自主・自律 ○ 共生 ○ 未来の創造

前文に「生徒主体の」と「自ら学び」の文言を加えた。「凛」とは「態度や姿がキリッとしていて、頼もしさや気品を感じさせる様子」である。

<基本方針>

安全・安心で、一人一人が楽しい学校づくり
～より楽しい学校生活、個に応じたより楽しい学習を目指して～

◎ 自主自立

- 何事に対しても自分自身で考え、乗り越えていく「たくましく生きる力」を育成する。
 - ・先を見通して行動する力、人に頼らず自分で解決する力を養う指導
 - ・暑さや寒さに負けない強い心身の育成
- 健康で安全な生活と豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。
 - ・病気予防のための手立てと指導
 - ・運動部活動の充実とオリンピック・パラリンピック教育の継続
- 食育を充実させ、自ら心身の健康について考え行動できる資質を育てる。
 - ・食物アレルギー対応の徹底と食や栄養について考える授業の推進

◎ 共生

- 自分のことと同じように相手を思いやり、自他の生命を大切にする心や態度を育てる。
 - ・自分を律し相手を思いやる道徳教育と人権教育の徹底（いじめの撲滅）
 - ・違いの理解と違いを力にする態度の育成
 - ・音楽や美術に親しみ、豊かな情操を養う環境づくり
- 明星学級と通常の学級の交流によるインクルーシブ教育の推進
- 上原や富谷、渋谷に誇りを持ち、地域を大切にする心を育てる。
 - ・地域の人材、自然や施設等を活用した体験的活動の充実

◎ 未来の創造

- 夢や希望の実現に向け、主体的に学び、未来の学びをデザインしていく力や姿勢を育てる。
 - ・生徒の課題解決を支援する個に応じた専門性の高い探究型授業への改善
 - ・自分の思いや考えを伝え合う指導の工夫（言語活動の充実、英語教育の推進）
 - ・ICT機器と地域の教育力の活用（タブレットとゲストティーチャーの活用）

<令和8年度の重点項目>

☆人権教育の推進：豊かな心の育成

- ※教育活動全体による道徳教育の推進
- ※いじめの早期発見・早期解決（組織的な対応）
- ※不登校傾向の児童への組織的な登校支援（アップルルーム）
- ※教育相談、カウンセリング機能の充実
- ※体罰や行き過ぎた指導の排除（教職員）

☆安全教育・健康教育の推進：危険回避能力の育成と体力の増進

- ※災害対応、交通安全、不審者対応、インターネット事故防止等、安全教育の充実
- ※インフルエンザや流行性胃腸炎などの感染症予防
- ※食育の推進と食物アレルギー対応の徹底

☆基本的生活習慣の定着：学校のきまりの徹底

- ※あいさつの励行、持ち物、下校等の指導
- ※規準の遵守（学級や教員による差のない指導）

☆学力の向上：個別最適な学びと基礎的基本的内容の定着

- ※生徒が主体的に学習する授業づくり
- ※基礎学力の定着
- ※多様な学習方法の工夫、補習教室（まなび〜）の積極的な実施

☆探究型学習の推進：シフヤ未来科と探究型学習の推進

- ※自ら課題を立て自ら課題を解決していく自由進度学習の推進
- ※地域や企業等との連携した学習の推進
- ※マイ探究と発表会の充実

☆ICT機器の活用：「～いつでも・どこでも・学校ICT～」の推進

- ※教科学習・探究学習・個別学習・家庭学習でのタブレットの活用
- ※SNS利用マナー、タブレットルールの徹底
- ※デジタル教科書を活用した学習の推進
(区指定「学習者用デジタル教科書導入モデル校」)
- ※ワークシートのデータ化

☆開かれた学校づくり：情報の発信と学校評価の充実

- ※学校ホームページの充実とホームアンドスクールを活用
- ※学校評価を生かした教育活動の推進

☆教職員の働き方改革の推進：風通しのよい元気のある職場づくり

- ※適切な人材配置と適格な指導と評価による運営（管理職）
- ※授業時数や行事の精選による研究・研修時間の確保
- ※会議の精選とICT機器活用による効率化